

2026年度 久留米大学推薦型選抜『出題の意図』

医学部医学科

日 程	11 月 15 日	科目名	小論文	問題番号	
「医師における教養の重要性について」 本問は、医師に求められる能力を医学的知識や診療技術だけに限定せず、幅広い知識やものの見方、他者や社会を理解する力という「教養」の観点から考察できるかを問うことを意図している。医師は、患者の身体的な疾患を診断・治療するだけでなく、患者の生活背景、価値観、家族関係、社会的状況などを踏まえて医療を行う必要がある。そのためには、医学以外の領域にも関心を持ち、多様な価値観に触れ、自分とは異なる立場や考え方を理解する姿勢が重要となる。また、医療を取り巻く倫理的・社会的問題は複雑化しており、単なる知識の習得だけでは適切に判断できない場面も多い。 本問では、受験生が「教養」を単なる雑学や知識量としてではなく、思考力、判断力、他者理解、倫理観などと関連づけて捉えられるかを評価する。さらに、将来の医師として医学知識をどのように社会や患者のために活用するのかという視点を持って、自らの考えを論理的に表現できることも期待している。					